

2026 年度(令和 8 年度)学校評価自己評価表

福山市立東中学校区	校番 1	福山市立東中学校
最終更新日		2026年(令和 8年) 4月1日

I 福山市

めざす姿	すべての子どもたちが、自分自身の成長を実感できる学校教育の実現
------	---------------------------------

II 中学校区

<p>前年度学校運営協議会(学校関係者評価)の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の年齢層を踏まえた取組みを進め、4校での合同研修の中で議論を深め課題共有してほしい。</li> <li>・CSを進め、地域人材バンクや地域教材発掘を目指してほしい。</li> </ul>	<p>児童生徒の現状</p> <p>校区で共通して行っている話し合う活動を通じて、授業中に考えを深めたり広げたりしている意識は高まっているが、基礎的な学力定着をさらに図る必要がある。</p>	<p>育成する資質・能力</p> <p>めざす子ども像(義務教育修了時の姿)</p> <p>中学校区として統一した取組等</p>	<p>課題発見・解決力, 表現力, 自他の尊重</p> <p>自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することができる子</p> <p>全教職員が2つの部会に所属し、授業研究と実践交流を行う。 ①授業改善・ESD部会 ②特別支援・長欠ゼロ部会</p>
--	---	--	--

III 自校

学校教育目標
自ら考え主体的に生きる生徒

現状
<p>&lt;生徒&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で考えることが楽しい。80.6% (+1.9)</li> <li>・友だちと話し合うなどして、自分の考えを深めている。90.9% (-0.8)</li> <li>・中学校の学校生活に満足している。85.8% (-1.5)</li> </ul> <p>&lt;授業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の学ぶ意欲を高め、主体的な学びを推進している。95% (+4)</li> <li>・一方的に説明するだけでなく、生徒の疑問を広げるなど、授業の工夫をしている。75% (-25)</li> </ul> <p>( )は前年度との差</p> <p>生徒の学校への満足度は昨年より下がっている項目もあるが肯定的な回答の割合はおよそ9割であり、授業で考えることを楽しむ生徒は増えている。教職員の意欲は高いが、自分の授業への満足度が下がっている。</p>

育成する資質・能力	課題発見・解決力 <b>課</b>	表現する力 <b>表</b>	自他の尊重 <b>尊</b>
	自ら課題を見つけ解決する	自分の考えを他者にわかるように伝える	自分を高め他者を高める
めざす子ども像	一学年	・他者とともに ・既習の知識を活用して	・分かりやすく整理して ・考え方が違う他者と
	二学年	・他者とともに ・既習の知識を活用して ・論理的・批判的に	・分かりやすく整理して ・根拠に基づいて ・共通の目的のために
	三学年	・他者とともに ・既習の知識を活用して ・論理的・批判的に ・新たな課題の発見に向け	・分かりやすく整理して ・根拠に基づいて ・状況に応じて臨機応変に ・新たな価値の創造に向け
研究	テーマ	自ら考え、共に学び深め合う生徒の育成 ～生徒が主体を持つ協働的な学びを通して～	
	内容等	・生徒同士の関わり合いを授業や行事の中に仕組み、生徒が他者と協働して課題解決を図る活動を通して、資質・能力の育成を図る	
めざす授業の姿	・疑問や考えを質問・説明し合う活動『学び合い』を通して、考えを深めたり、広げたりしている。		

IV 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立東中学校

年目	中期経営目標	重点	分類	短期経営目標	目標達成に向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)				最終評価(2月末)			
							□指標に係る取組状況	プロセス評価	達成評価	改善方策	□指標に係る取組状況 ◎短期(中期)経営目標の達成状況	プロセス評価	達成評価	総合評価
2	主体的・対話的で深い学びの推進	★	継続	生徒が主体的に学ぶ授業づくりの実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業ポートフォリオ全教科実施</li> <li>生徒が考えを深めたり、広げたりする『学び合い』全教科実施</li> <li>家庭学習の改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>標準学力調査通過率市平均以上</li> <li>全国学力調査市平均以上</li> <li>「友達と話をして考えを深める」教科平均95%以上</li> </ul>								
2	ESD(持続可能な開発のための教育)の推進		継続	体系的な総合的な学習の時間における探求的な学習の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年職業学習</li> <li>2年職場体験・修学旅行</li> <li>3年SDGsパネルディスカッション</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「友達と話をして考えを深める」総合的な学習の時間95%以上</li> </ul>								
2	豊かな心・健やかな体の育成		継続	生徒同士が支え合い高め合う学級・学年集団の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内フリースクールを中心とした居場所づくり</li> <li>生徒会執行部による学力・生活・体力向上に係るプロジェクト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>長期欠席者前年度以下</li> <li>「東中の生活に満足」90%以上</li> </ul>								
2	信頼される学校づくり		継続	不祥事防止徹底と時間外勤務の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間計画に沿った不祥事防止研修の実施</li> <li>定時退校日の着実な実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者「東中の教育を信頼している」80%以上</li> <li>時間外勤務45h超える教員15%以下</li> </ul>								

[プロセス評価の評価基準]

評点	評価基準
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。

[達成評価の評価基準]

評点	評価基準
5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。
4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。
3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。
2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。
1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。

[総合評価の評価基準]

評点	評価基準	
5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた。
4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった。